

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	武蔵野学芸専門学校
設置者名	学校法人 大志学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養 専門課程	国際コミュニケーション学科	夜・通信 夜・通信	2,145 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://musagei.jp/roll/h30kamoku.pdf">http://musagei.jp/roll/h30kamoku.pdf</a> 上記 HP に掲載
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	武蔵野学芸専門学校
設置者名	学校法人大志学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://musagei.jp/roll/list.pdf>

上記HPに掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人理事	平成29年 10月31日 ～令和3年 10月30日 (4年間)	当学園の運営における 教学面に関する 助言・指導
非常勤	元・衆議院事務局		
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武蔵野学芸専門学校 (文化教養専門課程 国際コミュニケーション学科(2年制))
設置者名	学校法人 大志学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 文化教養専門課程 国際コミュニケーション学科 (2年制)	
【作成について】 授業科目の内容は毎年度、校長、各学年の担任・副担任が責任者となり、教育目標を設定し各授業担当の教員により作成を行っている。 「2018 教育課程単位・授業シラバス詳細内容」において、授業科目名、必要時間数、必要単位数、担当教員名を取りまとめている。各授業ごとに講義目標・講義内容・教授法・成績評価方法・参考文献・履修上の留意方法を明記したものを作成・共有している。	
【時期について】 翌年度の講義内容を1月までに担当教員が作成し、校長に提出・承認されることで正式決定する。 翌年度分のシラバスは3月中旬にHP上に公表している。	
授業計画書の公表方法	<a href="http://musagei.jp/roll/h31keikaku.pdf">http://musagei.jp/roll/h31keikaku.pdf</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第27条において成績評価について規定している。 各授業、学科科目はテストを実施、実技科目は出席と課題提出を重視し成績を確定している。</p> <p>学業成績は、学期ごとに学科試験(学科の場合はテストの実施、実技の場合は課題提出)の成績及び出席日数等平素の成績を考慮して最終評価をする。出席率素点、テスト素点(学科のみ)、意欲点を合算平均し、優(A)、良(B)、可(C)、不可(F)の4段階で評価する。</p> <p>優(A) 85点以上 合格 良(B) 85点未満70点以上 合格 可(C) 70点未満60点以上 合格 不可(F) 60点未満 不合格</p> <p>各学年前期及び後期の各1回、科目成績を本人に通知し、また必要により保護者宛に通知する。</p> <p>(参考) 学則 第27条 学業成績は、各期試験ごとに学科試験(実習を含む)の成績及び出席日数等平素の成績を考慮して評価する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>前期課程、後期課程の全授業の成績(各授業100点満点換算)を合計し、授業数で割り平均点を算出し、順位をつけている。</p> <p>計算式 前期・後期授業点数合計÷総授業数(年度)＝平均点</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://musagei.jp/roll/h30sanshutu.pdf">http://musagei.jp/roll/h30sanshutu.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>武蔵野学芸専門学校は国際化する社会において、世界を舞台に活躍するアーティストやクリエイターなどの第一線で活躍する人材の輩出を目指している。</p> <p>各学年に履修すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。</p> <p>必修科目 33 単位と、選択科目 49 単位のうちから 41 単位を取得し、74 単位（総授業時間数 2590 時間）を卒業に必要な単位数とする。</p> <p>ただし、年度末時点での出席率が 80%未満である場合、原則として、卒業・修了・進級資格を認めない</p> <p>学則第 28 条において卒業要件を規定している。</p> <p>(卒業・修了の認定)</p> <p>第 28 条 校長は、教育課程の定めるところにより、各学年毎に修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="http://musagei.jp/roll/h30sotsugyohoushin.pdf">http://musagei.jp/roll/h30sotsugyohoushin.pdf</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	武蔵野学芸専門学校 (文化教養専門課程 国際コミュニケーション学科 (2年制))
設置者名	学校法人 大志学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://musagei.jp/roll/h30chinsyaku.pdf">http://musagei.jp/roll/h30chinsyaku.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://musagei.jp/roll/h30balancesheet.pdf">http://musagei.jp/roll/h30balancesheet.pdf</a>
財産目録	<a href="http://musagei.jp/roll/h30oropertylist.pdf">http://musagei.jp/roll/h30oropertylist.pdf</a>
事業報告書	<a href="http://musagei.jp/roll/h30businessreport.pdf">http://musagei.jp/roll/h30businessreport.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://musagei.jp/roll/h30auditreport.pdf">http://musagei.jp/roll/h30auditreport.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	国際コミュニケーション学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,725 単位時間/単位	690 単位時間/単位	570 単位時間/単位	525 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		30人	25人	7人	7人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要)  
 学科の授業に関しては授業内容の復習の為、小テストを実施している。年2回の個人面談を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	15人 (75%)	2人 (10%)	3人 (15%)

(主な就職、業界等) デザイン会社、クリエイティブ業界

(就職指導内容)  
 就職指導として、2年次には、就職対策授業の履修が選択することができる。授業では就職に関する各種情報の提供や就職活動の具体的な準備を行う。その他、企業説明会なども実施している。

(主な学修成果 (資格・検定等) )

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	0人	0%

(中途退学の主な理由)

(中退防止・中退者支援のための取組)  
 欠席や遅刻が多い学生は担任教員との面談により、出席不良についてのヒアリングに努め、不安事項についての相談も行っている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
国際コミュニケーション学科	180,000 円	700,000 円	110,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://musagei.jp/roll/h30jikoheyokakekka.pdf">http://musagei.jp/roll/h30jikoheyokakekka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 2018年度分は組織後すぐ実施し、2020年度より公表する。 本校の設置している武蔵野学芸美術教育研究所よりメンバーを選出する。 年2回の委員会を開催し下記の項目について[適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1、無該当：0]の5段階で評価する。  [項目] 教育重点項目1 教育重点項目2 教育重点項目3 1. 教育理念・目的・育成人材像等 2. 学校運営 3. 教育活動 4. 学習成果 5. 学生支援 6. 教育環境 7. 学生の募集と受入れ 8. 財務 9. 法令等の遵守 10. 社会貢献 11. 国際交流		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別



学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://musagei.jp/senmon/">http://musagei.jp/senmon/</a>
--